

# テックドクターによる現地診断(国道3号:山鹿市鹿北町、九州中央道:御船町)

- ・開催目的 : 管内国道を対象とした防災カルテ点検について、防災上の課題を有す箇所を対象に現地診断を実施し、防災上の課題とその対応方策について指導・助言を頂く。
- ・開催日 : 令和5年12月6日
- ・参加者 : TEC-Doctor(熊本大学 北園名誉教授、棕木教授)、熊本河川国道、熊本維持出張所 山鹿維持出張所

## ● テックドクターによる現地診断・防災検討会



### ■ 諮問事項

#### ・①国道3号:山鹿市鹿北町

⇒ 既設落石防護柵工背後ののり面・自然斜面の地山の緩みに起因する表層崩壊、及び既設落石防護柵工の老朽化による機能低下に対して、「カルテ対応」から「要対策」にランクアップし、対策工の検討・施工により防災機能の向上を図る。

#### ・②九州中央道:御船町

⇒ 橋台前面にモルタル吹付が施工されており、道路排水等による斜面下部の洗掘の進行に伴う不安定化の進行が懸念されるため、「要対策」の新規箇所として位置づけ、橋台保全のため対策工の検討・施工により斜面安定性の向上を図る。

### ■ テックドクターの主な見解・意見

・ランクアップ及び要対策の新規施設とすることについて問題ない。

・①: 隣接する溪床部においても地山の緩みの進行や空洞、亀裂を確認したため、対象の斜面は相当に不安定化が進行していると考えられる。地質調査も実施のうえ、すべりの規模を適切に評価し、対策を講ずること。

・②: 道路排水を含む排水方法、緩みが進行し滑りが発生すると想定される範囲(対策範囲)について、適切に評価し、対策を講ずること。